

ふるさと秋田が いつまでも、そこにありつづけるように

1982年7月に秋田市で生まれ、18歳で進学のため上京し2008年から仕事をしていた間、私はふるさと秋田のことを、**当たり前**に「**ずっとそこにあるもの**」と思ってきました。帰ればいつでも両親や友人がいる、面倒を見てくれた親戚や近所の人たちもいる、お気に入りの定食屋もある、お店もある、人もいる、安心して暮らせる環境がある。そう思っていました。

しかし、そうではありませんでした。友だちと集まっていた場所も、いつも「**元気だが!**」と声をかけてくれた**近所の人**も、**少しずつ“そこ”にいなくなって**、空き地も増え、高校生のときに通っていたとんかつ屋もなくなりました。**帰るたびに変わっていくふるさと**。それでも、「秋田はずっと“そこ”にあるはず」と自分に言い聞かせていたことを今も覚えています。

「人口減少率は全国で最高」、「20年以上全国で最も低い出生率」、「秋田県の約9割の自治体は将来消滅するおそれ」。現実、寂しいニュースであふれていました。

そして、2023年7月に**過去にない大雨が秋田を襲**いました。「太平川、氾濫した。ひどくなったら二階に避難する。」という母からのメッセージ。実家の前の道路が冠水し、太平川に面した庭が池のようになっている様子が写っていました。母がメッセージを読まない時間が長いと、もしかして...と不安でいっぱいになったことを覚えています。幸い、家族も親戚も無事でしたが、小、中、高校生時代に**良く通っていた近所の橋がぼろぼろになった画像を見たとき、胸が詰まった**ことを覚えています。

当然“そこ”にあると思っていたふるさとが、そうではなくなった。「かけがえのない場所を残すため、一生懸命秋田で頑張りたい。」私が強く決意した瞬間でした。



かわべ

川辺

農林水産省で培った経験と、
秋田への想いを胸に

じゅんのすけ

Profile 1982年7月 (42歳)、秋田市生まれ

東小学校、城東中学校、秋田高校、慶應義塾大学を経て、2008年農林水産省入省
農村振興や土地改良、米政策を担当するとともに警察庁や財務省、
在ドイツ日本国大使館(ドイツで秋田県産品のPRも!)にも出向
これまでの経験を秋田のために生かしたいと思い、秋田に戻ることを決心

現 在：妻とともに2人の子ども(9歳長女、3歳長男)の子育て中
趣 味：ヨガ、ウォーキング、人と話すこと、温泉めぐり、
その地域のパン屋さんめぐり
特 技：泣いている子どもをあやすこと、
実現するための道筋を立てること
座右の銘：為せば成る
愛 読 書：夏目漱石『こころ』

info@じゅんのすけ
各種SNSはこちらから



川辺じゅんのすけ

検索

家族の支え

子を持つ親として



豪雨災害のあと家族にそう伝えたとき、反対するだろうと思っていました。しかし、妻からの返事は、「いいよ。ずっと秋田をどうにかしたいって言っていたじゃない」というものでした。びっくりしたと同時に、理解してくれてくれたことに感謝で胸がいっぱいになりました。

高齢の両親には2人の子どものありあまる元気が少し大変かもしれませんが、秋田に戻ってきて以来、子どもたちは毎日ニコニコと遊び、「おいしい」とたくさん食

べ、ぐっすりと寝てくれます。「人が育つ環境としてはやはり秋田は最高だ」と改めて実感しました。こうした幸せな時間が、いつまでも続いてほしい。

県民一人ひとりが住んでいて良かったと誇りを持てる秋田を創るため、そして、誰もが大切な人と安心して暮らせる秋田を創るため、私は全力で頑張ることを誓います。

農林水産業からもう一度、秋田を元気に

「秋田を元気にするために、農林水産省を志望しました」

就職の採用面接試験で、私が答えた志望動機です。大学時代は法律や国際政治を専攻し、農林水産業については何も学んではこなかったのですが、同級生からなぜ農林水産省を選んだのかと何度も聞かれました。

その頃の私の中には、「様々な問題を抱えている秋田を何とかしたい」という漠然とした想いがありました。なぜ秋田が弱っていくのか、それは秋田の基幹産業

である農林水産業が弱っているから。このまま農林水産業が元気をなくすと、秋田も一緒に倒れてしまうのではないかと感じていました。

秋田の外で働きながら、ずっと一貫して、「秋田を何とかしたい」という想いが私にはありました。今度は秋田の中から変えていきます。



秋田のために、
全力で頑張ります。
川辺 じゅんのすけ

かわべ 川辺じゅんのすけ

政策提言

秋田はもっと良くなる！

夢と希望を持てる秋田と、安心して暮らせる秋田を創る

1 農林水産業で、秋田をもう一度元気に！

日本有数の食料基地である秋田。生産・加工・流通を盛り上げ、豊かな食と自然環境で国内からの旅行客、インバウンド、移住者を増やします。秋田の強みである農林水産業を突破口にして、産業を元気に、地域を豊かにします。

2 秋田を住み続けたい県に！人口減少に歯止めを

人口減少を食い止めるために、秋田の地域資源を活用して雇用を生み出し、子育て支援の内容や発信、教育環境を充実させ、「住み続けたい、住んでみたい」と思わせる秋田を創ります。暮らしの満足度と魅力を高めます。

3 災害に強い秋田を創ります！

災害は常に起こり得る危機です。喉元すぎれば…にならないよう、被害を予防するという考えで河川や下水道の改修事業などをしっかりと進めます。誰もが安心して日々の生活を送ることができるよう、秋田県を災害に強い県にします。

かわべ 川辺じゅんのすけ後援会事務所

2月14日開設

〒010-0041 秋田市広面字広面17-1

TEL:018-893-3881

FAX:018-893-3884

後援会会員を募集！

後援会では、川辺じゅんのすけの政治活動を応援いただける皆様を募集しています。お申し込みは、下記サイトまたは右記にご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。

電話でも受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

後援会お申込みフォーム

スマホからでも簡単です！



<input type="checkbox"/> お名前	<input type="checkbox"/> お名前
<input type="checkbox"/> ご住所 〒 -	<input type="checkbox"/> ご住所 〒 -
<input type="checkbox"/> TEL - - <input type="checkbox"/> FAX - -	<input type="checkbox"/> TEL - - <input type="checkbox"/> FAX - -
<input type="checkbox"/> mail @	<input type="checkbox"/> mail @

[個人情報の取扱い] 個人情報は、ご意見・ご要望に対する返信や後援会活動等に関する連絡のため利用させていただく場合がございます。